

高齢者居場所づくり事業実施状況 アンケート集計結果 【平成29年度】

平成29年度登録の高齢者居場所の数：51か所

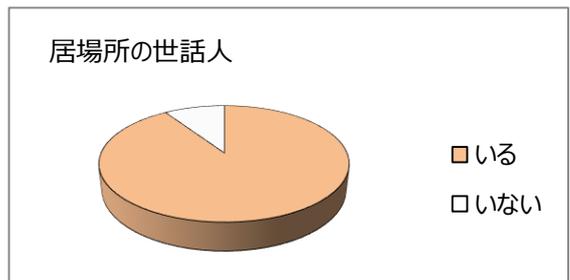
延べ利用者数：**18,221人**（65歳以上：16,985人、その他：1,236人）
 延べ開催回数：1,336回（うち、9か所は平成30年度開設予定等で0回のため42か所の開催回数）
 月あたりの開催頻度（平均）：4回（最大23回、）

アンケート集計結果（回答：42か所）

1. 高齢者居場所の運営について

Q：世話人はいますか。

核となるリーダー的存在の人がいる居場所、
 みんなで役割分担しながら運営している
 居場所がある中で、9割の居場所で世話
 人がいる状況であった。



2. 会場使用料や光熱費等の運営費用について

Q：会場費、光熱費はどのようにしていますか。

実施主体の会費等で運営	20か所	
場所の無償提供	11か所	
その他	5か所	寄付金等の別事業の負担
参加者の実費負担	4か所	1人1回あたり500円以下
無回答	2か所	

実施主体の会費、場所の無償提供により運営している高齢者居場所は半数を超え、その他（別事業の売上等からの負担）をあわせると約7割となる。

3. 講座等の開催について

Q：講座等を実施している場合、講師料はどのようにしていますか。

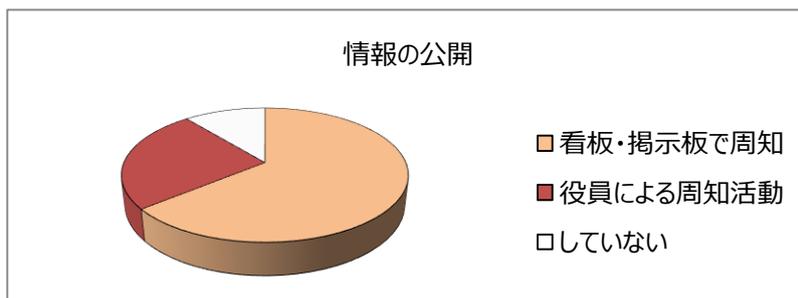
活動の周知、様々な知識を得るといった様々な理由から講座等を開催されている居場所は34か所（80%）
 講座等を実施していない居場所は8か所（20%）

無償で依頼（ボランティア）	21か所
公的な機関に依頼	12か所
実施主体の会費等で支払う	8か所
参加者から徴収	1か所

※複数回答あり

4. 高齢者居場所の地域での公開について

Q：居場所の情報を地域に自主的に公開していますか。



自治会等の看板・掲示板等で周知しているのが最も多く48%
 地域の役員が周知活動を行っているのが38%で、あわせると86%が地域の中で情報を公開している。

高齢者居場所づくり事業実施状況 アンケート集計結果 【平成29年度】

5. 開設の支援について

Q：補助金以外の方法で、開設に必要なものはどのように集めましたか。（自由記載）

実施主体の会費等	19 箇所
寄付	8 箇所
各自で必要な物を用意	6 箇所
その他	9 箇所
● すでに会場にある物を活用	
● その他の事業収入から購入等	

実施団体の負担で購入したり、メンバーが必要な物品を持ち寄ったり、材料を購入して皆で制作するなど、それぞれの居場所で工夫されている。

6. 困り事について（自由記載）

Q：現在運営するにあたり、お困りのことはありますか。

順調、困り事なし。との回答は 11 箇所（26%）	
<p>「活動内容の周知が困難」、「ボランティアの確保が困難」との声がある一方で、「他の地区にも広めたいが会場がない」、「参加者が増えて会場に入らない」、「仲良く地域の輪が広がっています」という声もある。</p>	
参加者 について	<p>行事毎に参加者が偏っている。</p> <p>参加者の拡大ができない。</p> <p>参加者が固定されており、もっと多くの方を集めたい。</p> <p>平日に行っているため高齢者で仕事をしている人々の参加がない。</p> <p>会員以外の一般の方への周知徹底が課題、まずは気軽に足を運んでくれるサロンづくりに努めたい。</p> <p>回覧や掲示告知では人が集まりにくい。</p> <p>人が集まらない。</p> <p>口コミで居場所の情報が伝わり、毎回参加者が増加、会場が狭くなり椅子が足りない状況である。</p> <p>利用人数が増加し、利用定員を超えた場合、後から来られた方にお待ちいただくか、お断りさせていただく可能性が出てきた。</p>
人 材 について	<p>担当役員の後任者がいない。</p> <p>世話役が必要なため、世話役の増員が大変</p> <p>ボランティアも高齢となり、次の担い手に悩む。</p>
運 営 について	<p>交流を目的にカフェをオープンしたが、高齢者が多く若い方へのアピールが必要</p> <p>ほとんど後期高齢者で運営が大変難しい。</p> <p>活動がマンネリになりがち。</p> <p>集会所が狭く 20 名以上入らないが、2 階を使った運営は難しい。</p> <p>活動内容をどうするのか初めから課題が多い。</p> <p>プログラムをどう変化させていくのが課題</p> <p>実施場所の改修の計画があり、利用できない可能性がある。</p>

高齢者居場所づくり事業実施状況 アンケート集計結果 【平成29年度】

資 金 について	運営費が不足し、様々な企画ができない。
	活動に必要な資金が不足気味である。
	運営はボランティアの協力で活動できているが、運営費の捻出を協議中
	地域元気づくり教室の補助金では、備品の購入や集客イベントの開催が難しい。
設 備 について	足の悪い人が多いが、畳の部屋で椅子の使用ができない。
	トイレが和式のため、高齢者が使用するには負担がある。
その他	他の地区にも広めたいが会場がない。自治会館や集会所の使用がややこしい。
	皆さん協力的で仲良く地域の輪が広がっています。
	参加者が変わっても使用できるように体操時に使用する用具を個人購入ではなく会で購入してもらいたい。
	集会所が建て直しのため、50人以上集まれる場所が遠くて困っている。
	駐車スペースが少ない。
	現在使っている集会所は市から借用している。修理など生じたら当方で負担している。しかし内扉、屋根の修理が必要と感じているが資金不足で実施できない。このような助成を一考願いたい。
	古いプレハブ教室であるため、屋根や外壁の痛みが出ている。今後改修が必要となってくるが、その費用の工面に苦勞している。市での処置・対処を願いたく考えている。